

## 第22回 枠の中では見えなかったもの

## 今回のゲスト

0

フリーライター、  
西川さんの仕事の楽しさは？

とんでもない、ライターデビューを飾る

人脈づくりは、工夫次第

やるべきことは、「枠の外」にあるという気づき

### 人がつつい話してしまう雰囲気づくり方

日経プラスワンの取材がきっかけで縁があったという美崎研究所と西川さん。西川さんのインタビューによって、ものすごく気持ちよく話すことができました。取材時にそういう雰囲気をつくることできるのは、どうしてなのでしょう？ 物腰の柔らかさのウラに潜む、ジャーナリスト魂についてうかがいました。

「私、とんでもないライターのデビューをしまして」という西川さん。出版関連会社での勤務を経て、2001年にフリーとして独立。その当時は、ライターとしての実績もなく、仕事をもらえるようなツテもなかったそうです。けれど、西川さんにはどうしても取材したいテーマがありました。それは、当時大きな社会問題になりつつあった「サラリーマンとうつ」でした。

このテーマで経済誌に取り上げてもらうためには、企業取材が必要。そこで、西川さんはなんと面識の無い100社以上の企業にアンケートを送りつけたのです。

アンケートなんて捨てられるだろうと西川さんも思っていたそうですが、意外にも返事をくれる企業もありました。次に、心理相談員の研修にも参加しました。研修後の懇親会で「取材先を探しているなら紹介してもいいよ」と言ってくれる人がありました。「職場うつ」の問題はナイーブな問題だけに、公開しながらない企業もたくさんあります。その上、コネもツテもない。そんなハードルの高い取材でしたが、西川さんはアンケートという二段戦法、研修参加という潜入取材で見事に人脈をつくり、執筆にこぎつけました。

西川さん自身もフリーになって見える世界が変わったといいます。脱サラして、人を幸せにするカレー屋さんになったアントレプレナーへの取材など、西川さんに通底しているテーマは「枠からはみ出した人たち」。「社会」という既存の枠が支えきれなくなった人々取材することで、枠の中にいるとわからなくなってしまったことを知りたいと思っているそうです。



西川敦子(にしかわ・あつこ)さん

1967年東京都生まれ。上智大学外国語学部ロシア語学科卒業。出版関連会社などを経て、2001年より取材・執筆活動をスタート。「週刊ダイヤモンド」(ダイヤモンド社)、「日経プラスワン」(日本経済新聞社)、「人材教育」(日本能率協会)などを中心に取材・執筆活動を行う。一貫して追いつけているテーマは「心豊かな働き方」。職場の人間関係、社会背景、家族など、さまざまな側面を通して、ビジネスマンの心の問題を取材している。ダイヤモンドオンラインのビジネス情報サイト「ダイヤモンドオンライン」では、『うつ』のち、晴れ』『働く男女の『取扱説明書』『婚迷時代』の男たち』『格差社会の中心で友愛を叫ぶ』など人気連載コラムを執筆。

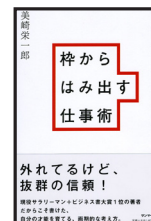
西川さんとは新聞の取材でお会いしたのですが、真摯な取材姿勢に感銘を受けました。西川さんの仕事の原点が、今回のPodcastで少しわかった気がします。



## リスナーへお知らせ！

仕事の楽しさを追求した1冊！  
『枠からはみ出す仕事術』発売中

こちらをクリック！→ <http://amzn.to/dShb3l>



この番組へのご感想や、こんなゲストを呼んでほしい！  
などのご要望を随時募集しています。こちらにご連絡ください。  
a16.misaki@gmail.com

今回のゲストは・・・  
株式会社カンミ堂  
広報の  
萩のぞみさんです。